

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	263万1	239万7	330～333

【教育総務課】

○教育委員会 239万7千円

■定例教育委員会を12回開催し、うち1回は、傍聴者に配慮し森岳公民館で開催した。委員会では、規則・要綱等の制定・改正、各種委員・審議会委員の任命又は委嘱等計81件の議案について審議を行った。

■各種研修会への参加及び視察研修の実施
5月に諫早市で開催された県市町村教育委員会連絡協議会の研修会及び11月に長崎市で開催された県市町村教育委員会研究大会に参加し、分科会のテーマに沿って各市町教育委員と意見交換を行った。



教育委員会での審議風景



教育委員研修大会（大分市）

8月1日大分市で開催された九州地区市町村教育委員研修大会に出席して、九州各県の市町村教育委員との情報交換を図るとともに、教育行政の充実・発展に寄与するため資質を高めた。

■教育委員の活動状況

平成31年度（令和元年度）においては、教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で50回を超える活動を行った。

○総合教育会議

- ・開催日時 11月22日（金） ・参加者 市長、教育長、教育委員、市職員
- ・協議題
 - （1）第2期島原市教育大綱の策定について（第2期大綱〈素案〉の検討）
 - （2）ふるさとにもどってこねえ奨学金の貸与実績等について（奨学金の申請状況等と採用基準の見直し等）
 - （3）学校プールの今後の活用について（プール運営の民間委託等）

総合教育会議に出席し上記協議題について市長と協議するとともに意見交換を行った。

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	1	2	事務局費	3億2,318万8	3億1,110万3	332~339

【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展 55万8千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展(第41回目)を開催した。平面の部及び立体の部 出品数275点
・北村西望賞、奨励賞授賞状況

区分	小学校		中学校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	2人	6人	1人	3人
立体の部	2人	6人	1人	3人



「ザリガニ、つかまえた!」 島田心晴(第一小)



「仲良しクラス」 松崎琴子(第五小)



「思い出」 下田彩未(第二中)



「大すきな きょうりゅう」 下田滝昇(第五小)



「恐竜の対決」 田浦嵩真(三会小)



「理想の筋肉」 松本結衣(第二中)

○豊後高田市・島原市兄弟校児童会交流事業 81万4千円

島原市・豊後高田市の兄弟都市の交流を更に深め、両市小学生の活力を生む豊かな児童会交流を継続的に行い、21世紀の郷土を担う青少年の育成を目指すことを目的として、豊後高田市の小学生 28人を本市に受け入れ交流を行った。児童は、各兄弟校・交流校の児童をホームステイさせ、各校での平和集会に参加したり、島原市内の視察をしたりしてもらったことを通して、互いの交流を深めることができた。

・参加者 ①全体交流会

(発表者：四小4人、五小3人、ホームステイ受け入れ家庭28世帯、中学生吹奏楽部全5校、島農和太鼓)

②学校行事：平和集会等(市内全9小学校)

③見送り式(発表者：三会小1人、大三東小1人、ホームステイ受け入れ家庭28世帯、PTA代表2人)

・日程 8月8日(木)

時程	内 容	
15:00	島原市長表敬訪問	
15:30	豊後高田市訪問団歓迎式並びに全体交流会	兄弟都市締結50周年記念歓迎セレモニー 両市教育長あいさつ 両市児童会あいさつ 引率者等紹介 両市紹介(両市児童会)
17:00		ホームステイ受け入れ先児童・保護者代表歓迎あいさつ

8月9日(金)

時程	内 容	
午前中	各兄弟校・交流校の学校行事等に参加	
12:30	歓迎昼食会	島原市教育長あいさつ
13:30	島原市内伝統産業体験・史跡巡り	本多木蠟工業所 本光寺
17:10		島原城

8月10日(土)

時程	内 容	
10:00	見送り式(雲仙岳災害記念館)	島原市長あいさつ 豊後高田市教育長あいさつ 両市PTA代表あいさつ 両市児童会代表あいさつ 児童会記念品受贈
10:30	見送り	ホームステイ受け入れ先児童・保護者、校長、関係者



○小・中学校学力向上対策事業 535万4千円

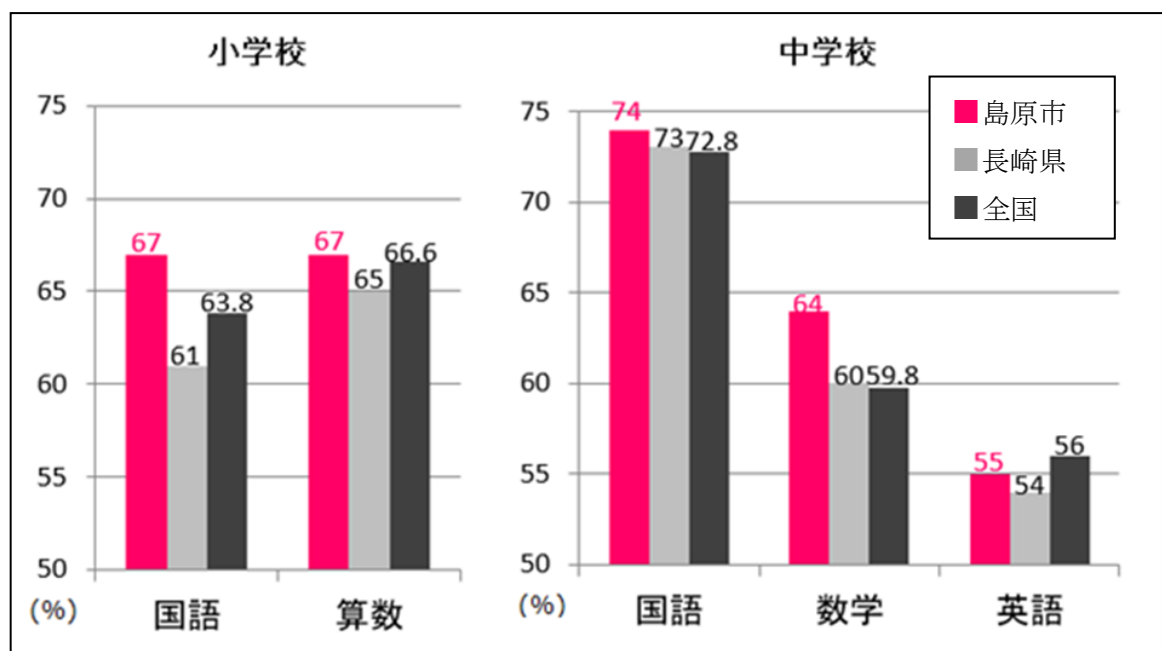
全国学力・学習状況調査及び県学力調査に加え、学力の新たな検証軸として市独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために実施した。

また、教職員の授業力改善を図るために教育講演会、先進地視察を実施した。成果として、下記の事項があげられる。

- ・全国学力・学習状況調査及び県学力調査の前学年において市学力調査を実施したことで市全体また学校別の学力の定着状況、課題を把握することができた。
- ・小学校国語、算数、中学校国語、数学の平均正答率が全国平均、県平均を上回ることができた。
とりわけ小学校国語、中学校数学は高い数値を示した。
- ・中学校英語の平均正答率が、全国平均をわずかに下回ったものの、県平均を上回った。
以上のことから、本市の小・中学生の学力は、期待される一定の学力が身に付いている状況であると考えられる。これは、全国、県、市の学力調査の結果をもとに、数値目標を掲げ、ねらいに即した「書く活動」を重視した授業、補充学習、家庭学習の充実に学校全体で取り組んだ成果と言える。
- ・授業改善のための先進地・先進校の取組を知ることができた。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果

○教科に関する調査（調査区分ごとの平均正答率）から



具体的実践事項

- ・市学力調査実施
小2～小4、中1・中2…国語、算数、数学、英語
- ・問題データベースの導入
小学校…国語、算数、理科、社会
中学校…国語、数学、英語
- ・中学校統一実力テスト 中1～中3…国語、数学、英語
- ・島原市教育講演会への講師招聘
教育実践研究家 菊池 省三 氏
- ・先進地視察 10月1日～10月3日
秋田県東成瀬村立東成瀬小学校・中学校…指導主事、教頭、教諭等 5人

○外国語指導助手招致事業 2,765万1千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1～2回外国語指導助手との授業を実施した。ALTを7人配置し、小学校3・4年生においてもALTを活用した授業を受けられるようになった。

小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。また、年6回ALT研修会を開催し、指導力の向上に努めた。

- ・外国語指導助手 7人

氏名	出身国	配置校	訪問校
マッカードル・アン・ヘレン	カナダ	第一中	第四小
ラブラック・ステファニー	カナダ	第二中	第三小
ガイエル・ローラ	カナダ	第三中	第五小
スナトリ・エベリン	カナダ	三会中	三会小
コーンブルム・スティーブン	U.S.A.	有明中	高野小
パケット・ラファエル	カナダ	第一小	第二小
パディーヤ・マガリー	U.S.A.	大三東小	湯江小

○中学生海外訪問交流事業 371万5千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設の見学及び現地中学生との交流活動を体験させ、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うことを目的とし、英語圏であり、学力で世界のトップクラスである香港を訪問地とした。経費の一部には参加生徒の保護者負担（3万円×13人）、長崎県市町村振興協会の国際交流支援事業補助金（186万9千円）を活用した。また、今年度は在香港日本国総領事館と香港大学を訪問した。訪問した生徒は、本事業を自身の今後の目標や進路に生かすことができた。

- 参加者 市内中学3年生代表
第一中2人、第二中3人、第三中4人、三会中1人、有明中3人 計13人
引率者（教育次長 学校教育課1人 教諭2人）



在香港日本国総領事館訪問



香港ユネスコ世界ジオパーク研修
(現地学生との交流)

○不登校児童生徒適応指導事業 228万円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

- 心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行い、中学校3年生の1人の生徒が高校へ進学することができた。
- 適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2人

開室日（時間） 毎週月曜日から金曜日までの週5日（午前9時30分～午後3時30分）

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

平成31年度 (令和元年度) 不登校児童生徒数	小学校	6人
	中学校	29人
	計	35人

平成31年度 (令和元年度) ひまわり教室通級者数	小学校	1人
	中学校	5人
	計	6人

- 不登校児童生徒数の推移

区 分		H27	H28	H29	H30	H31(R1)
小学校	人数(人)	6	4	6	4	6
	割合(%)	0.25	0.13	0.25	0.26	0.25
中学校	人数(人)	28	24	26	25	29
	割合(%)	2.17	1.88	2.30	2.30	2.75
人数計(人)		34	28	32	29	35

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があったもの)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	1億2,350万1	1億1,080万1	338～343

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 1,304万6千円

校舎監視業務委託や各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費 412万8千円

器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

品目	学校名	金額
児童用机・イス	第一小・第三小・第五小・三会小	162万円
学校図書システム	第二小・第五小・大三東小	100万4千円
校旗	第四小	43万2千円
特別支援学級用	第二小・第三小・湯江小	33万円
その他	市内各小学校	74万2千円

○校庭芝生化事業 10万4千円

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 芝が剥がれている箇所への苗移植作業、施肥、芝刈、水やり、除草作業等



▲地域を挙げての除草作業（参加者：約300人）

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	2億3,916万8	2億2,866万2	342~347

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 137万6千円

教育振興のために楽器等を、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

品目	学校名	金額
締太鼓セット (音楽備品)	湯江小	38万9千円
プログラミング教材 (理科教育備品)	第二小・第三小・第五小	98万7千円

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 (小学校) 75万2千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 第一小、第四小
国立諫早少年自然の家 第二小、第三小、第五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 第一小、第三小、第五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
2泊3日 第二小、第四小、
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、星空ウォッチング等

○学校司書配置事業 (小学校) 612万6千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率1%以下を達成する等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各小学校に学校司書を1人配置 (計9人)
- ・1日6時間の週3日配置

■貸出冊数の推移 (児童一人当たりの年間平均貸出冊数)

区分	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)
小学校	160.7	170.4	173.6	166.8	173.4

■不読者率 (1か月に1冊も本を読まなかった者の割合)

区分	H29	H30	H31 (R1)
小学校	0.32%	0.28%	0.26%

※ 島原市教育振興基本計画 目標 不読者率1%以下

○学習支援員事業（小学校） 909万2千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・小学校9校に配置。
(第一小、第二小、第三小、第五小…2人配置) (計13人)
- ・1日5時間の週5日配置

○幼児ことばの教室設置事業 86万8千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害を改善することができた。

【入退室等の状況】

区分	H27	H28	H29	H30	H31(R1)
教育相談(件)	26	26	31	33	35
入室児(人)	31	32	24	30	25
退室児(人)	24	26	17	24	17

- ・第二小に支援員を1人配置。
- ・概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行った。

○指定研究校補助金 67万2千円

毎年、小学校の4～5校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等により、成果を上げることができた。

平成31年度(令和元年度)小学校研究指定校(4校)

学校名	研究テーマ	指定期間
第一小	自分の考えを持ち、認め合い、高め合う子どもの育成	H31(R1)～R3年度 1年目
第五小	主体的に学び合い、思考力・表現力を身につける子どもの育成	H30～R2年度 2年目
三会小	豊かなかかわり合いを通して、よりよく生きようとする児童の育成	H29～H31(R1) 3年目
高野小	思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成	H29～H31(R1) 3年目

【教育総務課】

○ICT 推進事業経費 1 億 6,460 万 6 千円

- ・教育用パソコン（教室用・パソコン室用）

普通教室用のパソコンについては、老朽化により授業に支障をきたしていたが、全普通教室に最新のパソコンを 116 台配備した。また、全小学校のパソコン室について管理プログラムの保証期間が終了することから、最新のパソコン 357 台を整備し、併せて学習ソフトや授業支援ソフトを導入した。



整備されたパソコン室

- ・校務用パソコン

耐用年数（5 年）の経過及び、教職員の校務の効率化を図るため、年次計画で更新している教職員用パソコン 70 台と事務職員等のパソコン 36 台を整備した。

- ・ICT 支援員

地域人材の活用と育成を見据えて、教員・児童生徒への操作説明や授業支援を目的に ICT 支援員 1 人を令和元年 10 月から令和 2 年 3 月まで配置し、各学校を巡回する必要があることから専用の軽自動車を購入した。

○就学援助費 2,226 万 6 千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

(児童に対する支給実績)

支給費目	件数	支給総額 (円)	一人当たり (円/年)
学用品費等	387	6,475,030	16,731
うち新入学用品費	(38)	(1,938,900)	(51,024)
うち学用品費・通学用品費	(349)	(4,536,130)	(12,998)
社会科見学活動費	61	156,613	2,567
校外活動費	61	143,024	2,345
修学旅行費	61	1,222,530	20,041
医療費	109	535,550	4,913
学校給食費	344	13,684,520	39,781
通学費	1	48,700	48,700

準要保護世帯の認定状況（小学校）

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1 (R 1)
認定者数	310 人	316 人	337 人	346 人	349 人
全児童数	2,340 人	2,274 人	2,307 人	2,311 人	2,330 人
認定率	13.25%	13.90%	14.61%	14.97%	14.98%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	3 億 8,842 万 5	1 億 3,949 万 8	346～351

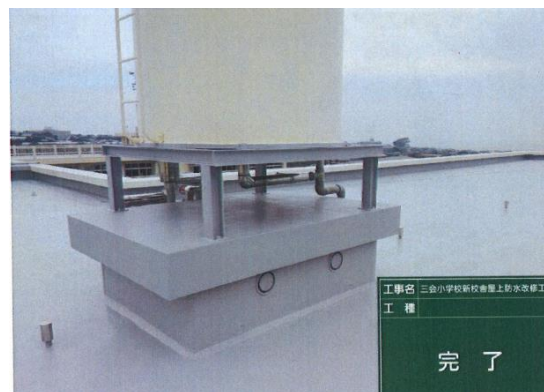
【教育総務課】

○工事請負費 6,123 万 5 千円

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額
第一小学校	普通教室エアコン更新工事	251 万 6 千円
	太陽光発電表示装置改修工事	108 万 0 千円
第三小学校	給水管布設替工事	240 万 6 千円
	北側通学路レンガ塀改修工事（繰越）	215 万 8 千円
三会小学校	新校舎屋上防水改修工事	1,161 万 7 千円
	長貫分校多目的室エアコン更新工事	126 万 5 千円
大三東小学校	普通教室エアコン更新工事	128 万 7 千円
湯江小学校	体育館床張替工事	1,503 万 0 千円
	保健室エアコン更新工事	173 万 9 千円



三会小学校新校舎屋上防水改修工事

○降灰防除事業 5,526万6千円

現在設置してあるエアコンは、普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後27年余りが経過し、老朽化により稼働していない機体も多い。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理対応ができない状況となっている。

このため、年次計画で更新を進めており、平成31年度（令和元年度）においては第二小学校のエアコン74台を更新し、生徒の学習環境の整備・充実を図った。

- ・設備設計業務委託 268万9千円
- ・エアコン更新工事 5,210万7千円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	7,614万7	7,106万4	350～355

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 772万6千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費 220万4千円

器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

品名	学校名	金額
大判プリンター デジタル印刷機	第一中・第三中・三会中	94万円
学校図書システム	第二中	63万7千円
保健室用備品	有明中	14万4千円
特別支援学級用	第三中	12万4千円
その他	市内各中学校	35万9千円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	1億4,444万9	1億3,540万1	354～357

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 154万5千円

教育振興のために楽器や体育用品等を、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

品目	学校名	金額
ビブラフォンほか（音楽備品）	第一中・三会中	75万1千円
エバーマット（体育備品）	第三中	13万8千円
マイクロスコープ、生物顕微鏡（理科教育備品）	第二中・第三中	65万6千円

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（中学校） 101万1千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施中学校 5校
- ・活動場所 県立千々石少年自然の家等 第一中、第二中、第三中、三会中、有明中
- ・日 程 1日及び1泊2日（第二中のみ1日日程）
- ・活動内容 星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯 等

○学校司書配置事業（中学校） 343万2千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率1%以下を達成することができた。また、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各中学校に学校司書を1人配置（計5人）
- ・1日6時間の週3日配置

■貸出冊数の推移（生徒一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	H27	H28	H29	H30	H31(R1)
中学校	20.1	21.0	23.8	25.5	25.3

■不読者率（1か月に1冊も本を読まなかった者の割合）

区分	H29	H30	H31(R1)
中学校	1.12%	0.66%	0.49%

※ 島原市教育振興基本計画 目標 不読者率1%以下

○学習支援員事業（中学校） 493万2千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・ 中学校3校に支援員を1人配置、中学校2校に支援員を2人配置（計7人）
- ・ 1日5時間の週5日配置

○中高教育交流事業 4万5千円

生徒たちに「生命」のすばらしさや尊さを学ばせることを目的に、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。羊の飼育から試食までを一貫して生徒の体験活動を実施することで、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

6月から8月まで約2ヶ月の間、生徒たちは不慣れではあるが一生懸命に愛情をこめて羊のお世話をした。羊の毛刈り体験や餌やりなど、動物の飼育を経験するとともに、自分たちが飼育した羊の肉を使った調理実習を行うことで、「生命」の温もりを感じ取り、「生命」に対する感謝の心を育むことができた。



羊の毛刈り体験



羊の餌やり

○心の教室相談事業 344万5千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

（相談員の職務）

- ・ 生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
- ・ 地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
- ・ その他、学校教育活動の支援を行う。

（心の教室相談員 配置数）

- ・ 各中学校に1人ずつ配置

(相談延べ人数)

(単位：人)

区 分		H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1 (R 1)
1年	男	57	164	251	418	495
	女	206	103	77	332	465
2年	男	203	111	678	291	282
	女	218	254	318	347	117
3年	男	143	377	56	300	609
	女	589	470	339	320	330
のべ人数計		1,416	1,479	1,719	2,008	2,298

- ・心の教室相談員等連絡協議会を2回開催した。

○指定研究校補助金 50万4千円

毎年、中学校の2～3校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って3年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

平成31年度（令和元年度）中学校研究指定校（3校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第一中	学力向上のための指導方法のあり方	H30～R2年度 2年目
第二中	基礎・基本を身につけ、活用することができる生徒の育成	H31（R1）～ R3年度 1年目
第三中	互いに認め尊重し合う生徒の育成	H29～H31 （R1）年度 3年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 8,497万円

- ・教育用パソコン（教室用・パソコン室用）

普通教室用のパソコンについては、老朽化により授業に支障をきたしていたが、全普通教室に最新のパソコンを49台配備した。また、全中学校のパソコン室について管理プログラムの保証期間が終了することから、最新のパソコン205台を整備し、併せて学習ソフトや授業支援ソフトを導入した。



整備されたパソコン室

・校務用パソコン

耐用年数（5年）の経過及び、教職員の校務の効率化を図るため、年次計画で更新している教職員用パソコン30台を整備した。

○就学援助費 1,908万8千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

(生徒に対する支給実績)

支給費目	件数	支給総額 (円)	一人当たり (円/年)
学用品費等	234	7,814,640	33,396
うち新入学用品費	(62)	(3,714,800)	(59,916)
うち学用品費・通学用品費	(172)	(4,099,840)	(23,836)
校外活動費	46	101,310	2,202
修学旅行費	57	2,966,895	52,051
医療費	39	267,595	6,861
学校給食費	174	7,937,470	45,618

準要保護世帯の認定状況 (中学校)

	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)
認定者数	208人	208人	192人	189人	172人
全生徒数	1,288人	1,279人	1,133人	1,129人	1,047人
認定率	16.15%	16.26%	16.95%	16.74%	16.43%

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	5 億 310 万 5	9,830 万 5	358～361

【教育総務課】

○工事請負費 3,826 万 4 千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額
第一中学校	東側ブロック塀改修工事（繰越）	1,109 万 2 千円
	校舎便所洋式化工事	126 万 4 千円
第二中学校	キュービクル更新工事	1,543 万 3 千円
	普通教室エアコン更新工事	240 万 6 千円
有明中学校	普通教室エアコン更新工事	410 万 5 千円



第一中東側ブロック塀改修工事

○降灰防除事業 4,084 万 8 千円

現在設置してあるエアコンは、普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後 27 年余りが経過し、老朽化により稼働していない機体も多い。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理対応ができない状況となっている。

このため、年次計画で更新を進めており、平成 31 年度（令和元年度）においては三会中学校のエアコン 47 台を更新し、生徒の学習環境の整備・充実に努めた。

- ・ 設備設計業務委託 166 万 3 千円
- ・ エアコン更新工事 3,872 万円

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	6,785万6	6,406万8	360~377

【社会教育課】

○市民文化講座経費 5万4千円

市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催し、島原の歴史等について学んでいただくことができた。

第214回市民文化講座「明治新政府と丸山作楽」	参加者数	68人
第215回市民文化講座「松平文庫の思い出」	参加者数	80人
第216回市民文化講座「わが二足草鞋の人生」	参加者数	114人

○梅林俳句会経費 1万1千円

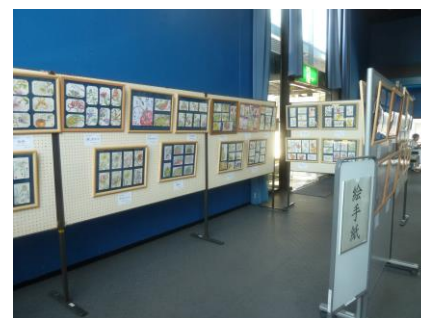
俳句を通じた市民の文化交流を図ることができた。

参加者数	33人
------	-----

○市美術展経費 39万7千円

市民の鑑賞と美術活動の場としての交流を図ることができた。

出品者数	271人
出品点数	451点
入場者数	1,139人



市美術展

○自主事業運営経費 75万1千円

子供たちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催し、子供たちが伝統文化に親しんだ。

- ・体験型事業

名称	肥前島原子ども狂言 (5月~10月、計12回)
実参加者数	40人



肥前島原子ども狂言

○市民音楽祭経費 41万5千円

本市における音楽の普及向上を図ることができ、観衆に感動を届けることができた。

部門	入場者数
洋楽の部	1,239人
邦楽の部	456人



市民音楽祭「洋楽の部」

○姉妹都市等交流事業 94万円

中学生を対象として、夏季休業中に、島原市と災害時における相互応援協定を締結した静岡県小山町、そして小山町と交流のある岡山県勝央町、京都府福知山市、茨城県北茨城市も一堂に会し、富士登山をはじめ、世界文化遺産である富士山を理解する機会を持ち、将来に渡る絆づくりや、心身ともにたくましい人材の育成を目指すことを目的として実施した。

- ・参加者 市内中学1、2年生10人
第一中6人、第二中1人、三会中1人、有明中2人
- 引率者（社会教育課2人、学校教育課1人、養護教諭1人）



富士山山頂



他市町中学生との交流会

○コミュニティ助成事業助成金 400万円

一般財団法人自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品等の購入に対し助成した。

- ・島原七万石を踊る会 子供用の踊り衣装の購入 220万円
- ・北浦町内会 自治公民館の備品等の購入 180万円

○文化財経費 934万5千円

指定文化財の保護と活用、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、肥前島原松平文庫の公開、修復、マイクロフィルム化等を行った。

- ・文化財数 国指定5 国登録18 県指定11 市指定78
- ・肥前島原松平文庫 来庫者数 526人
マイクロ撮影数 179点(10,070コマ)
- ・薬園跡 入場者 1,470人

○旧島原藩薬園跡整備事業費 497万9千円（シルバー除草 224万1千円含む）

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めた。

○地域おこし協力隊文化財活用事業経費 792万9千円

地域おこし協力隊に2人を委嘱し、松平文庫をはじめとする文化財の調査や本市の歴史文化の啓発に取り組んだ。

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費 258万7千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

- ・埋蔵文化財発掘調査 6遺跡(島原城跡、寺中城跡、寺中B遺跡、畑中遺跡、津吹遺跡、一野遺跡)

○古文書調査事業 308万7千円

松平文庫及び島原城が所蔵する未整理資料について、文化庁調査官の現地指導及び助言の下、全5回の調査を実施した。本市職員(学芸員)に加え岩崎九州大学准教授以下延べ76人の大学教員や大学院生・学部生が参加し、2,427点の史料を調査した。



古文書調査事業

○公民館学級運営費 253万8千円

市民のニーズに応じた各種講座・学級を開設し、自ら学ぶ生涯学習の意欲が高まった。

- ・三会公民館学級運営費 37万5千円
- ・森岳公民館学級運営費 41万5千円
- ・白山公民館学級運営費 32万9千円
- ・有明公民館学級運営費 28万3千円
- ・杉谷公民館学級運営費 30万1千円
- ・霊丘公民館学級運営費 49万5千円
- ・安中公民館学級運営費 34万円

学級名	学級数	実施回数	参加人員(延べ)
青年教室	1学級	4回	28人
女性学級	9学級	73回	1,504人
家庭教育学級	7学級	33回	5,858人
高齢者学級	7学級	63回	1,760人
公民館自主講座	36学級	98回	1,414人
合計	60学級	271回	10,564人

○地域子ども教室推進事業経費 259万7千円

- ・スクールキッズ

夏休み中に公民館において開設。生活リズムの定着化と自学の習慣化を図った。

7月29日～8月2日(各4日間)全7地区公民館

参加人員 延べ615人

- ・放課後子ども学習室

市内全小中学校において開設。自学の習慣と学力向上を図った。

4月～3月(長期休暇中を除く)

実施日数 延べ1,771日

参加人員 延べ36,541人

- ・夏休み稽古館

対象は小学生であり、初級・中級各8回実施。

内容は論語の素読、古典の音読と暗唱を行い、古典文学に親しむことができた。

参加者数 延べ67人



放課後子ども学習室

○通学合宿支援事業経費 12万1千円

小学校区単位で3年生から6年生までを対象として、3泊4日の通学合宿を公民館等で実施し、子供たちに自分たちだけでの生活体験をさせ、たくましく生きる力を育んだ。

- ・実施地区 7地区（うち、台風接近のため1地区中止）
- ・参加者数 126人

○地域・家庭教育力活性化推進事業費 8万8千円

地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

- ・健康教育講座 開催数 13回 参加者数 370人
（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）
- ・思春期子育て講座 開催数 4回 参加者数 487人
（回数及び人数は、家庭教育学級の再掲）

○子ども読書活動推進事業費 15万8千円

第二次島原市子ども読書活動推進計画の期間満了に伴い、これまでの成果と課題を整理し、「第三次島原市子ども読書活動推進計画」を策定した。下記への配付のほか、インターネット等で周知を図った。

- ・主な配付先：各小・中学校、各幼稚園・保育園（所）・認定こども園 など

○成人式経費 40万1千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。

- ・開催日 1月3日
- ・出席者 460人



島原市成人式

○少年センター運営経費 477万円

少年犯罪・非行等の未然防止のために、補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施した。

※平成31年度（令和元年度）実績

- ・補導件数 5件
- ・相談件数 2件
- ・白ポスト回収 164点



島原市少年センター少年補導委員会

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	2	公民館費	1億1,282万9	1億799万1	376~391

【社会教育課】

○公民館運営費 4,769万4千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行った。

平成31年度(令和元年度)公民館利用状況

区分	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	57	2,061	391	5,791	1,774	9,122	453	6,116	2,675	23,090
三会	39	1,600	258	4,111	344	2,381	282	7,355	923	15,447
杉谷	39	927	187	4,479	897	9,379	249	6,745	1,372	21,530
森岳	135	3,159	634	10,855	1,031	9,153	511	12,473	2,311	35,640
霊丘	96	3,016	402	6,633	986	11,060	286	6,889	1,770	27,598
白山	37	1,328	161	3,815	1,078	12,169	225	8,932	1,501	26,244
安中	50	1,161	193	3,277	442	3,927	182	6,106	867	14,471
計	453	13,252	2,226	38,961	6,552	57,191	2,188	54,616	11,419	164,020

主な施設整備

- ・ 霊丘公民館中央駐車場テント交換修繕 10万9千円
- ・ 霊丘公民館中央駐車場駐車券発行機及び認証機取替修繕 306万9千円
- ・ 有明公民館進入路歩道修繕 129万6千円
- ・ 有明公民館玄関パラペット外壁補修 114万円
- ・ 安中公民館門扉改修工事 45万円



公民館講座

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	8,951万5	7,790万2	390~393

【社会教育課】

○図書館運営経費 7,790万2千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

(再掲) 図書館指定管理料 5,274万円

・島原図書館

開館日数	288日	登録者数	52,342人
利用者数	32,835人	貸出冊数	157,864冊
蔵書数	127,443冊	視聴覚資料	4,858点
自主事業	おはなしひろば、夏休み工作教室、手作り講座、読書感想画展等を実施した。		

・有明図書館

開館日数	289日	登録者数	52,342人
利用者数	12,443人	貸出冊数	69,976冊
蔵書数	81,141冊	視聴覚資料	1,347点
自主事業	おはなしポケット、手作り講座、子供向け講座等を実施した。		

※登録者数については、両図書館共通の貸出カードを交付するため同数となっている。

※貸出冊数については、視聴覚資料の貸出点数も含む。

施設の整備については、島原図書館において、網戸取付修繕、空調設備更新工事、駐車場整備工事を行った。



夜のおはなし会&ぬいぐるみおとまり会



手作り講座こけ玉づくり

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	1億5,015万6	1億3,191万6	392~393

【社会教育課】

○文化会館運営経費 1億3,191万6千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

(再掲) 島原文化会館 指定管理料 3,417万7千円

開館日数	322日
利用人数	95,430人
利用回数	1,035回
自主事業	こども絵画・粘土教室、クリスマスコンサート Enjoy! フォトの日の開催

(再掲) 有明文化会館 指定管理料 3,587万8千円

開館日数	311日
利用人数	50,913人
利用回数	1,570回
自主事業	アロマ講座、子どもバレエ教室、カラオケまつりの開催

(施設の整備)

島原文化会館

修繕

大ホール調光卓改修工事 雨水排水ポンプ取付修繕 客席・ロビー空調機修繕
大ホール調光室窓ガラス取替修繕 展示室空調機修理
大ホール浄化槽中継ポンプ槽ポンプ逆止弁緊急修繕

購入

デジタルミキサー 大ホール舞台用舞台袖幕 大ホール舞台照明機器

有明文化会館

修繕

大ホール音響調整卓更新工事 多目的ホール系統空調機修繕
電動開閉式緞帳レール修繕



島原文化会館大ホール舞台照明機器



有明文化会館大ホール音響調整卓更新工事

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	4,368万5	3,819万8	394～397

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費 838万5千円

本市児童・生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図った。また、県中学校総合体育大会で県の代表権を獲得した生徒が、九州、全国大会に県代表として出場している。

- ・部活動消耗器材費 74万3千円
- ・部活動充実費 13万9千円
- ・部活動運営費補助金 125万8千円
- ・島原市中学校体育大会補助金 276万5千円
- ・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金 283万8千円
- ・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金 64万2千円



島原市中学校体育大会（バレーボール競技）



島原市中学校体育大会（陸上競技）

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 547万2千円

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施した。

- ・児童・生徒検診（結核、心臓、尿、小児成人病予防） 273万1千円
- ・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿） 274万1千円

○フッ化物洗口推進事業 66万8千円

う歯予防及び低減に向けて、全小・中学校においてフッ化物洗口を実施した。

- ・消耗品費（洗口用紙コップ代他） 22万9千円
 - ・医薬材料費（洗口用薬剤代） 43万9千円
- （実施率）
- | | |
|-----------|------|
| H27年度 | 30% |
| H28年度 | 100% |
| H29年度 | 100% |
| H30年度 | 100% |
| H31（R1）年度 | 100% |

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	3億3,804万6	3億2,455万6	396～407

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝大会 1,792万円

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として認知度を高め、島原半島世界ジオパークはもとより魅力ある島原の情報を広く県内外に発信した。

〈参加チーム数〉

男子	女子	合計
32チーム	15チーム	47チーム



男子スタート



女子ゴール

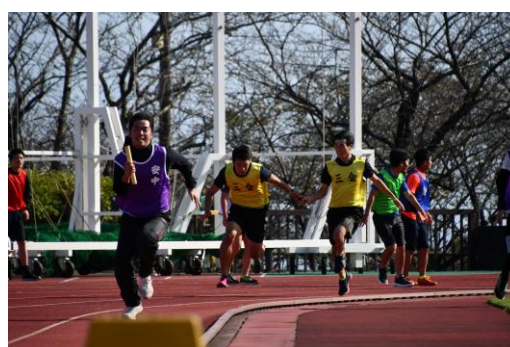
○島原市民体育祭 212万9千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催した。

区分	期日	参加者数
市民体育祭大運動会出場者	10月13日	2,615人
市民体育祭各種競技会（18競技） ※2競技は台風により中止	9月22日 ※一部競技は別日程	1,230人
合計		3,845人



開会式



年齢別リレー

○「夢の教室」公演事業 228万2千円

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図った。

〈開催実績〉

開催校	学級数	夢先生の人数
9校	12学級	6人



マック鈴木 (野球)



寺田弥生子 (バスケットボール)



中川賀之 (サッカー)



中村麻衣

(アーティスティックスイミング)



富平辰文 (キックボクサー)



有光亮太 (サッカー)

○スポーツ大会 24万円

〈開催実績〉

区分	期日	対象	参加者数
市民親睦サッカー大会	4月21日	一般	15チーム 284人
市民親睦ソフトバレー大会	7月28日	一般	14チーム 82人
少年軟式野球大会	10月27日	中学生	3チーム 60人
少年ソフトボール大会	12月7日	小学生	8チーム 160人
市民親睦テニス大会	12月8日	一般・高校生	43ペア 86人
市民親睦バドミントン大会	2月16日	一般	18ペア 36人
市民親睦卓球大会	2月23日	小・中・高・一般	45ペア 204人
市民親睦ソフトボール大会	3月15日	一般	中止
合計	7回		912人



市民親睦サッカー大会



市民親睦バドミントン大会

○ジュニアスポーツ振興事業 118万4千円

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に伴う事業の一環として、小・中学生を日本体育大学に派遣し、トップレベルの指導者や選手から講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上を図った。

また、青少年期における望ましい指導を、指導者を対象に日本体育大学から講師を招き講習会を行い、指導者の資質向上を図った。

〈開催実績〉

・小中学生派遣事業

研修期間	7月31日（水）～8月2日（金）
研修場所	学校法人日本体育大学（健志台キャンパス）
参加人数	15人

・スポーツ指導者研修会

開催期日	2月22日（土）
講師	日本体育大学教授 三宅 良輔 氏
対象者	スポーツ少年団指導者、中学・高校運動部活動指導者、スポーツ推進委員等
参加人数	176人
研修内容	講演「子どもからお年寄りまで一緒にできる楽しい体操」 ～ ケガをしないための体づくりの理論 ～



小中学生派遣事業



指導者研修会

○有馬スポーツ賞 29万1千円

〈受賞者数〉

区分	小学校	中学校	合計
個人	13人	8人	21人
団体	5団体	2団体	7団体

※新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式中止

○施設管理の状況

施設名称	運営経費	運営経費のうち 指定管理料	指定管理者
島原復興アリーナ ほか周辺施設	7,600万4千円	4,119万6千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力アップ健康運動教室 ・大人のバレエ教室 ・リフレッシュ健康体操教室 ・東北復興応援チャリティコンサート 	
	施設整備	アリーナのトイレ洋式化修繕、空調機関係修繕、中央監視装置更新工事、高圧受電設備改修工事、平成町多目的広場の芝管理業務委託、給水管布設替工事等(3,480万8千円)	
霊丘公園 体育館・弓道場ほか 周辺施設	4,770万5千円	4,024万6千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアバレーボール教室 ・弓道教室 ・バドミントン教室 ・卓球教室 ・ジュニア水泳教室 ・ワンポイント水泳教室 ・水中リハビリ ・水中シェイプアップ教室 ・水中ウォーキング教室 	
	施設整備	温水プールの配管布設替修繕、スロープ設置修繕、テニスコートの照明器具等修繕、屋内相撲場の修繕、屋外相撲場修繕等(745万9千円)	

陸上競技場ほか周辺施設	8,530万1千円	1,395万6千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア陸上教室 ・タグラグビー教室 ・ジュニアマラソン教室 ・お花見ウォーキング 	
	施設整備	陸上競技場の芝管理業務委託、通路屋根設置工事、ハードル購入、円盤投・砲丸投兼用サークル修繕、1階トイレ洋式化修繕や球場の給水管布設替工事、庭球場の人工芝全面張替工事、コートベンチ購入等(7,134万5千円)	
有明プール	2,144万4千円	1,867万0千円	(株)しまばらウェルネッサンス
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児水泳教室 ・夏休み短期教室 ・保育園健康水泳教室 ・高齢者体力づくり教室 	
	施設整備	ボイラー室扉取替修繕、ろ過ポンプ修繕、換気扇修繕等(277万4千円)	
平成町人工芝グラウンド	1,378万8千円	1,227万4千円	(一社)長崎県サッカー協会
	主な自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日無料開放 ・少女サッカー教室 ・女性のための生き生き健康教室 ・秋の親子ふれあい広場 	
	施設整備	人口芝用スーパージ購入、コンテナハウス屋根修繕、浄化槽放流ポンプ修繕等(151万4千円)	

○東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致事業 335万円

スペインレスリングの事前キャンプ決定後の交流として、令和元年11月にスペインからジュニアレスリング選手が来島し、島原市の高校生ジュニアレスリング選手とのトレーニングキャンプや島原市内の高校生等との交流を行った。

また、ドイツパラリンピック陸上競技の事前キャンプ誘致のため、令和2年2月にドイツへ市長が渡り、ドイツエアフルト市で開催されたドイツ国際室内パラ陸上競技大会の視察を兼ねて事前キャンプの覚書締結を実現した。



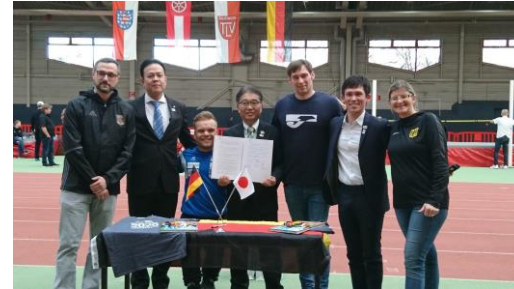
トレーニング風景



市内高校生との交流（島高）



GAP食材メニューによるおもてなし（島農生）



ドイツパラ陸上競技との事前キャンプ締結式

○ラグビーワールドカップ 2019 公認チームキャンプ地事業 1,086万2千円

ラグビーワールドカップ 2019 大会におけるトンガ代表の公認チームキャンプ地として、トンガ代表が試合前の調整を最適な環境の中で行ってもらえるように整備を行った。

トンガ代表からは、整備された練習会場とホテルが近くにある利便性について、「世界各地で行ったキャンプ地の中でも一番いい」と評価されたことが新聞記事に掲載され、今後のスポーツキャンプを誘致するうえでの大きなPR効果となった。



トレーニング中のトンガ代表



トレーニング中のトンガ代表



トンガ代表との地域交流イベント



熊本会場への市民応援団

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	1億7,933万6	1億6,756万2	406～411

【学校教育課】

○学校給食経費 1億6,756万2千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図った。

- ・学校給食業務委託料 9,977万9千円
- ・学校給食配送業務委託料 1,356万6千円
- ・その他委託料 557万9千円
- ・消耗品費 722万7千円
- ・機械器具費 744万7千円
- ・学校給食会運営費補助金 1,547万8千円



有明学校給食センター

〈安全及び衛生管理〉

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回(各学期毎)
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年3回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年2回(6納入業者)
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月2回

〈学校給食の充実〉

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会(毎月)	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会(隔月)	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

〈完全給食実施状況〉

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	第二小 241 第一中 351	第三小 277 第二中 168 第三中 151	第一小 495 第四小 205 三会小 253 長貫分校 14 三会中 120	第五小 323	大三東小 237 高野小 72 湯江小 213 有明中 257
合計	592	596	1,087	323	779
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				